

春のビオトープ公園は

野草の花がいっぱい!

楽しいイベントもいっぱい!

くわぶくろ
桑袋ビオトープ公園

ニュースレター



3
2015



ドロバチハウスをつくろう!

ドロバチが巣として利用できるように、竹筒を加工して園内に設置しよう。

3月8日(日)



生きものモビールを

つくってみよう

生きもの同士の食べる・食べられる関係に注目して、吊り飾りをつくろう。

3月22日(日)



作品例



時間 午後2:00~3:00
(午後1:45から受付開始)
対象 どなたでも
(就学前の子どもは保護者の参加が必要)
定員 20名(先着順)
参加費 無料



4コマ劇場



自然のあそび屋台

自然の見どころや遊びを、園内に出す屋台で紹介するよ。

3月1日(日)、15日(日)、29日(日)



時間 午後2:00~2:30
対象 どなたでも
参加費 無料
場所 園内ため池観察デッキ横
※荒天の場合、外での活動を中止する場合があります。



公園のみどころ紹介

木の戦略

冬芽を狙うのは?

冬、葉が落ちた樹木の枝先には、何かとんがっているものがついています。これは冬芽といい、春暖かくなると花や葉になります。しかしこの大事な冬芽、安心して春を迎えられるわけではありません。食べ物が少ない冬の間、冬芽を食べる鳥などの生きものに狙われているのです。

いろいろな工夫の仕方

しかし樹木も、冬芽が春を迎えられるよういろいろな工夫をしています。例えばエゴノキ。食べられてもなくな

らないように、冬芽が2つずつあります。普通は予備の冬芽(副芽)は小さく目立ちませんが、メインの冬芽(主芽)がなくなると、副芽が大きくなって春に葉を出します。そして、ニシキギ。枝に翼のようなものが張り出しており、冬芽が生きものに食べられないように守る役割があるといわれています。

自分では動けない樹木ですが、動けないからこそこの戦略で、動物と知恵比べをしているようですね。樹木と動物、両者の視点で冬芽を観察してみると面白い発見があるかもしれませんよ。(解説員 内田)



イベントレポート

12月21日(日)

手づくりキャンドルナイト

キャンドルやケースなどを手作りして行う、キャンドルナイトを実施しました。キャンドルの材料は使い終わった食用油で、緑や赤など好きな色のエコキャンドルを作ってもらいました。照明を消しキャンドルだけの灯りになった後は、伊興ウィンドオーケストラの方々に演奏をしていただきました。冬のひと時、キャンドルの灯りと音楽でゆっくりとした時間を過ごすことができました。

(解説員 伊藤)



ボランティア日記

1月10日(土)

新年懇親会

桑袋ビオトープ公園で活動している、公園管理ボランティア・提案型ボランティア・野外解説ボランティアという3種のボランティアが一同に会して新年懇親会を行いました。昨年の活動をスライドで振り返り、当時の事を懐かしく思い出し、和やかなムードで始まりました。その後、ひとりひとり今年の活動への意気込みを漢字2文字で表現し、新たな年への思いを確認しました。

(4期生 高橋)



ご利用案内

開園時間

2月~10月 9:00~17:00

11月~1月 9:00~16:30

休園日

月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日~翌1月4日)

入園料

無料

駐車場

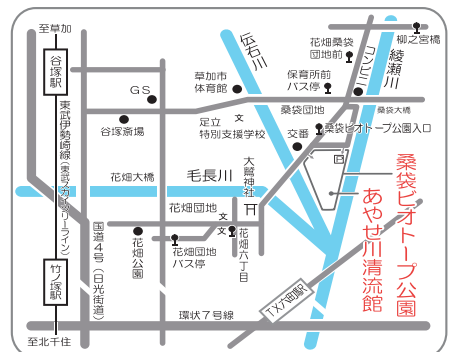
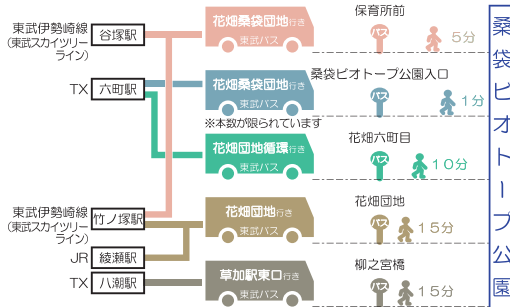
無料(11台)

お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)
〒121-0061 足立区花畑8-2-2

交通案内

東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「谷塚駅」から東武バス「花畑桑袋団地」行きで「保育所前」下車、徒歩5分。



TEL: 03-3884-1021 FAX: 03-3884-1041
HP: <http://www1.adachi.ne.jp/biotop/>
E-mail: bio-park@adachi.ne.jp



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけない場合があります。